

フォローアップミルクからセシウムが検出された件について

～愛育病院における人工乳（粉ミルク）の使用に関する Q&A～

Q1 愛育病院で使用している粉ミルクは安全か？（どのような安全基準で使用しているのか？）

A1 愛育病院では 4 ヶ月に 1 度のローテーションで、市販されている乳業会社 3 社（森永乳業、ビーンスターク・スノー、明治乳業）のミルクを順番に使っております。現在は森永乳業の「はぐくみ」を使用しており、1 月からはビーンスターク・スノーに変更となる予定です。今回のセシウム検出以降、乳業各社が粉ミルクの安全確認の再検討を行っており、安全な粉ミルクのみが市場に出回っているとの情報が乳業各社より当院へも寄せられております。

Q2 病院独自で、粉ミルクに関する安全検査などを行っているか？今後、実施の予定はあるか？

A2 病院としては行っておりません。ただし、当院で使用中の粉ミルクの安全性については、メーカーに確認しており、今後も継続して安全確認していく予定です。

Q3 出産のための入院時に自分で粉ミルクを持参してもよいか？

A3 入院中に粉ミルクが必要な場合、当院で調乳した粉ミルクを使用させていただいております。患者さん自身で持ち込まれた粉ミルクに関しては病院として責任を負いかねます。

Q4 自分で準備した粉ミルク以外は与えたくない。どう対応してもらえるか？

A4 Q3 の答えに準じます。どうしても持ち込まれる場合にはご自身の責任で調乳を行って下さい。

Q5 自宅で購入した粉ミルクに放射性物質が含まれていないか心配。どうすればよいか？

A5 購入されたメーカーにお問い合わせください。病院としてのインフォメーションは行っておりません。

Q6 回収・交換対象となった粉ミルクを飲ませていた。どうすればよいか？

A6 日本産科婦人科学会より乳児用粉ミルクのセシウム汚染についての見解が出ております。学会では、仮に、くだんの粉ミルクを 1 日に 60g、4 ヶ月間（120 日）飲み続けたと仮定した場合、この粉ミルクからこの乳児が余分に受ける被曝量は 5.6 マイクロシーベルトと計算されることから、粉ミルクから受けた被曝量はたいへん微量であることが予想されるとして、「たいへん微量であり、この粉ミルクから余分に受けた被曝に関して健康被害について心配する必要はない。」と結論づけております*。また、セシウム汚染が報告されたものと同じ会社の同じ製品であっても汚染された事が確認された製品は限られております。乳業会社のホームページをご確認下さい。

*食品中の放射性物質の上限はセシウムで年 5 ミリシーベルトとされていますが、厚生労働省は乳製品については年 1 ミリシーベルト（年 1,000 マイクロシーベルト）に下げる方針とのことです。

愛育病院院長

参考 URL

日本産科婦人科学会

http://www.jsog.or.jp/news/html/announce_20111208.html

明治乳業株式会社・重要なお知らせ

<http://www.meiji.co.jp/notice/2011/detail/20111206.html>